

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2016-10-01

No. 80



株式会社コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation
〒516-2102 三重県度会郡度会町大野木 3571 番地 2

本社・大野木事業所

<http://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC & 安全

目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary	2
IEC: 規格解説: CISPR 35 Ed. 1.0 (2016-08) マルチメディア機器—イミュニティ要求事項 ...	3
IEC: 新規格リスト	9
ISO: 新規格リスト	11
国際テーマ: UNECE: gtr No. 15 への修正、及び電気車両に対する環境要求事項研究継続	12
国際テーマ: UNECE: 規制 No. 46 (間接視覚用機器)への修正の第4シリーズへの補足	13
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲	14
USA: FCC: 機器認証測定手順リスト	15
USA: FCC: KDB: DFS 要求事項の対象となる U-NII 装置の適合性立証用試験ガイダンス	17
USA: CPSC: 子供向け製品第三者試験: 子供向け製品証明書 (5/5)	17
USA: CPSC: 指定フタル酸エステル類を含む子供向け玩具および保育用品の禁止令	18
USA: FDA: 新規の機器固有識別子(UDI)ドラフトガイダンス発行	19
USA: DOE: 省エネプログラム: バッテリー充電器省エネ規格	20
USA: DOE: ディスプレイ新基準施行に際しての届出及びロゴ使用に関する注意点	20
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知	21
USA: ANSI/UL: 新規格リスト	22
USA: IEEE: 新規格リスト	23
カナダ: 官報通知 No. SMSE-016-16 - RSS-210, Issue 9, SP 462/467 MHz, Issue 2 発行	24
カナダ: 官報通知 No. SMSE-012-16 - SPR-002, Issue 1 (曝露適合性関連)の発行	24
EU: 玩具安全指令 TSD: ガイダンス文書 No. 10 楽器関連	26
EU: 医療機器: EC 委員会、医療機器の安全使用のための新しい協定を歓迎	27
EU: 整合規格発行: 無線機器指令、R&TTE 指令誤り訂正、機械指令、等	28
EU: 解説: R&TTE 指令(2016/9/17)、無線機器指令 RED 整合規格リスト(2016/9/9)	29
EU: 解説: 三指令(EMC, LVD, RED)関連 整合規格リスト発行履歴	30
EU: CENELEC: 新規格リスト	33
EU: ETSI: 新規格リスト	34
中国: CQC: サージプロテクタ (SPD) の安全認証規則改正に関する通知	36
中国: CQC: プロジェクタの省エネ認証への新版の技術規範と認証規則の実施	36
中国: CQC: コンピュータモニターへの省エネ新版規格の実施に関する通知	36
中国: 新規格リスト	37
台湾: 預告廢止: 検査を適用する、パワープレス機械等 4 項目 21 品目の関連検査規定 ..	39
台湾: 「試験を適用する手持型電動工具商品関連規定」改正の通知	39
台湾: 低電力無線周波数機器 技術規則 改訂のお知らせ	39
台湾: 新規格リスト	39
韓国: 無線設備規則の一部改正 (未来創造科学部告示第 2016-47 号、2016-52 号)	40
韓国: 電波応用機器の技術基準の一部改正 (案) 行政予告	41
韓国: 電気用品安全基準制定告示: 制御回路装置と開閉素子等規格 等	41
韓国: 安全確認対象子供用製品 (玩具) の安全基準の改正 (案) 立案予告	42
総務省: 情報通信審議会 「衛星放送用 受信設備に関する技術的条件」の検討開始	43
総務省: 各種電波利用機器の電波が植込み型医療機器等へ及ぼす影響を防止する指針 ...	43
総務省: 79 GHz 帯高分解能レーダーに使用する周波数の拡大に係る関係告示改正案	44
総務省: 「デジタルコードレス 電話の無線局の高度化に係る技術的条件」の検討開始 ..	44
ちょっといっぽく〜小クイズコーナー RoHS 関連の IEC 規格	15
コスモス・コーポレーション: 自動車部品の耐水試験についてのご案内	24
社長の独り言	45



IEC: 規格解説: CISPR 35 Ed. 1.0 (2016-08)マルチメディア機器—イミュニティ要求事項

CISPR 35 マルチメディア機器の電磁両立性—イミュニティ要求事項が、2016-08 付で発行された。

- 従来、AV 機器のイミュニティ、及び ITE のイミュニティを規定していた規格それぞれ CISPR 20 及び CISPR 24 に代わるものである。経過では規格審議が進み、CDV が承認されたにもかかわらず FDIS が否決されたため、新たな CDV からスタートし今回ようやく発行に至った。
- 「5 イミュニティ要求事項」では、各種ポートに対応する 4 種掲載表により、各ポートごとに、各種妨害現象に対する要求事項を定める。妨害信号印加については、具体的な印加周波数範囲、印加電圧強度、各種試験条件、依拠試験規格を定める。又、それを受けた際の機器に求められるイミュニティ耐力の程度=性能判断基準が各種妨害現象毎に定められている。

国際テーマ: UNECE: 規制 No. 46 (間接視覚用機器)への修正の第 4 シリーズへの補足 4

- 規制 Regulation No. 46 (間接視覚用機器)への修正の第 4 シリーズへの補足 4 に対する提案 6.2.1.2.項で、全視覚フィールドを表現する全プロセス時間要求を 1/10 に短くすることを提案。

USA:FCC: 機器認証測定手順リスト

- 連邦通信委員会 (FCC) は、無線周波数機器の FCC 規則遵守を判定するために使用することができる測定手順の非排他的リストを公開。

USA: FDA: 新規の機器固有識別子(UDI)ドラフトガイダンス発行

- FDA は、機器固有識別子(UDI)のコンテンツおよび形態を明確に定義し、業界、FDA 公認 UDI 発行機関、および FDA のスタッフに対し、CFR 801.40 要求事項を明らかにするために新ドラフトガイダンスを発行

EU: 医療機器: EC 委員会、医療機器の安全使用のための新しい協定を歓迎

- 欧州議会及び理事会は、医療及びインビトロ診断機器のよりよい監視及びトレサビリティに対し、合意に達した。次のステップとして本件に関する 2 件の規制草案が準備されている。それらは、医療機器には公表後 3 年で、インビトロ試験デバイスには公表後 5 年で、適用されるであろう。

EU: 解説: R&TTE 指令(2016/9/17)、無線機器指令 RED 整合規格リスト (2016/9/9)

- - R&TTE 指令整合規格リスト(2016/9/17): 誤り訂正版が発行され、EN 50566 項に 警告が追加。
- - 無線機器指令 RED 整合規格リスト(2016/9/9): 新規で規格が 2 件追加。

総務省: 情報通信審議会 「衛星放送用 受信設備に関する技術的条件」の検討開始

情報通信審議会 情報通信技術分科会 (第 121 回) 配付資料・議事概要・議事録

- 従来の衛星放送の中間周波数帯は約 1~2GHz 帯であったが、2018 年から始まる衛星による 4K・8K 実用放送 (左旋円偏波を利用) の中間周波数帯は約 2.2~3.2GHz となる。これに対応し、「衛星放送用 受信設備に関する技術的条件」を検討開始。

社長の独り言

2016 年 9 月 27 日

濱口 慶一

最近、心に思うことがあり、三重県の主催する“三重ものづくり改善インストラクター養成スクール”に参加しています。2 か月程度の講習中心の教育を受けてきましたが、今週末からはいよいよ現場実習ということで、前年度の卒業生の指導を受けながら、企業の製造ラインを見せてもらいながらの実習に入ります。

そもそも、何故この様なセミナーを受ける気持ちになったのかですが、社長として今月 10 月 31 日で 30 周年を迎えるにあたり、事業の継承などとにかく永年に会社のトップにいることの問題も生じてきているのではという思いや、サービス業であってもきちんとした品質管理が必要とだという思いを後世に伝えるために文章として残したいとの思いがあります。これまでを振り返ると会社の運営システムに改善すべき点に気づくことが多々あり、30 年間社員に対して、口頭での指示ばかりで明確な文章がない、少ない、またあっても運用されていないなどの問題があり、時々社員との間で激論となることがありましたが、結局は会社のトップから部下への指示が適切であっても、現場のスタッフの意見で修正されたり、本来指示したものでない方向に進められることがあります。

30 年間、経営とお客様への技術指導（コンサルタント業務はできませんが）としての技術相談に向かってきた、自分の思想や理論が独りよがりで、お客様には受け入れられないものではなかったと、最近思い上がりかもしれません強く思うことがあります。ある業界の忘年会に参加した時に、創立何年ですか？とたずねられ、30 年になりますと答えたら、立派な老舗ですよ、頑張ってくださいとのエールをいただきました。コスモスを創業して 5 年目くらいにそこそこの社員数になったので、お客様の接待に利用させて頂くお店を決めようと、伊勢市内や松阪市内で昼食のお店、夕食のお店を家内と二人で訪問して探しました。特に松阪市内で、社員に紹介されて訪問した“武蔵野”さんには、大きなインパクトを受けました。お店をすでに 8 代もの長い間守り、成長させています。企業でも 50 年を迎えるのは難しいといわれる中で、100 年以上も継続している手法に興味を持ったのです。懐石料理を提供しているお店は、同じ市内でもたくさんありますが、どうして武蔵野さんが 100 年以上も継続することができたのか、自分たちは創立 5 年そこそこの会社でしたが、何かを学び取り、10 年、20 年、30 年と年輪を重ねたいと思う一念でした。

何度かお店の人には内緒で訪問して気づいたのは、女将がある時間になると、すべてのお客様のテーブルに訪問して、お礼の挨拶をきちんとされる。その中でもなじみの客には名前に対応されている。メニューも通常は、同じものならほとんどのお店は食材も同じであり、同じ味での提供になりますが、10 日でメインの食材は変えなくても、八寸などの提供物はきちんと変えて、その季節や旬の食材が出されているのに気が付きました。これだったら一か月に 3 度来ても、同じものでないという楽しみがあるのだ、だからお客様が絶えないのかと教えられたこともありました。

私にとっては、いつの間にかこの業界で仕事をしていくだけの感じですが、どの業界であっても、自分たちのサービスできる業務をきちんと把握して、お客様に常に好かれるように、高品質で確実な納期の良いサービスを提供できるなら、どのような業界でも必ずうまくいくと思っていましたし、今でもそう思っています。弊社は ISO17025 の適合試験所、校正機関として、また CSC マークの認証機関、医療機器の認証機関などとして ISO17065、ISO17021 に基づく品質システムへの対応は一生懸命してきましたし、相当ハイレベルに成長させていただいたと思います。しかし全社的な品質システムを構築して、適切に運用していると言われると、少し弱い面があるように感じたため、再度会社のトップとして、三重ものづくり改善インストラクター養成スクールの授業を受け、コスモスがもう一度何を生産しているのかを明確に自覚し、その業務プロセスの中に日本本来の品質管理の手法の 5S を全社員が生き生きと使用して、武蔵野さんのように良いサービスを提供できるようにと思う次第です。

● ニュースレターの内容

本誌は、EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation) 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国際機関、並びに、FCC, UL を含む米国、EU, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域

- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

● 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレーション CS 部 (カスタマーサービス部) まで sales@cosmos-corp.com
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行: 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。

- 価格: 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

● 本誌の内容案内、ご購読案内は、<http://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレーションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は原著作権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO : European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC &安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2016-10-01 (No. 80)

発行所: 株式会社コスモス・コーポレーション 松阪事業所 <http://www.safetyweb.co.jp/>

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地

発行人: 濱口慶一

編集人: 倉品光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2016 株式会社コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。